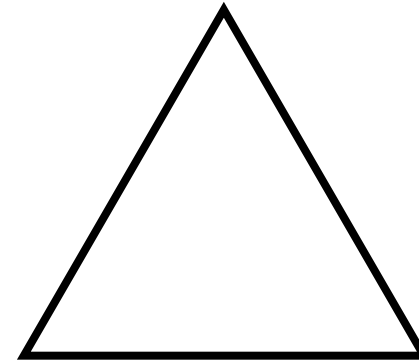


教えない

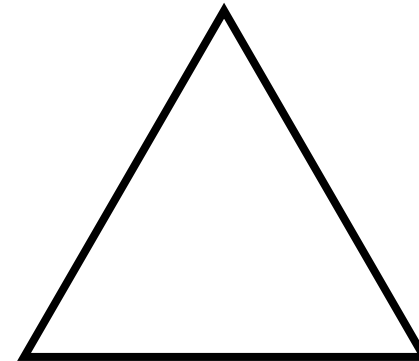


教え合い

紙は自分で

STEP 1. 西式スケジュール管理

効果



美

気づき

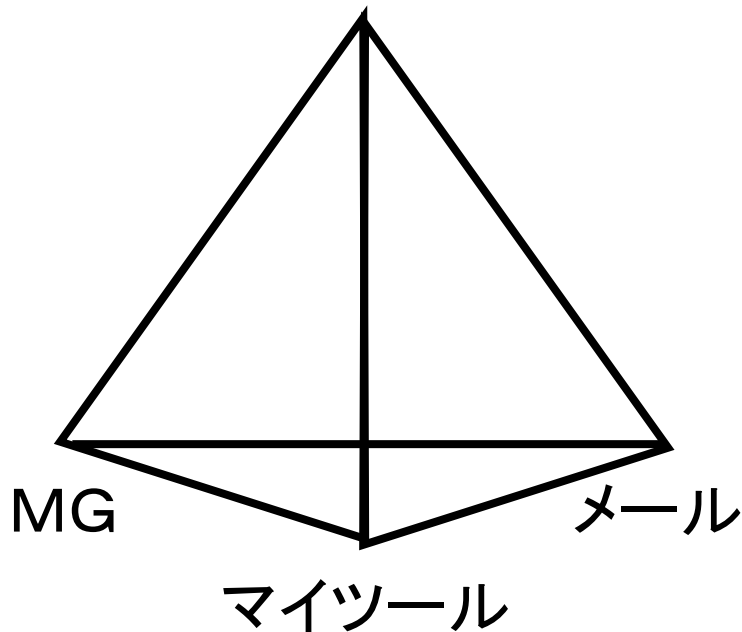
- 右の2つの三角形は、毎月開催されている西研究所主催の東京MGで、一番はじめに西佳恵先生が必ず書く三角形です。

今の私のすべては、この2つの三角形を見続けたことから始まりました。



4M

みんなで



板東さん97.0809MG学会講義より

もし、あなたがマイツールを仕事に使っているのなら、マイツールでスケジュール管理するのをおすすめします。
もし、あなたがスケジュール管理に困っているのなら、マイツールで「西式スケジュール管理」をすることをおすすめいたします。

1997年8月現在、中小企業・個人のもうかる勝ちパターンは、「みんなで」、「MG」、「マイツール」と、そして「電子メール」の活用にあると思います。

今、革命真っ只中の「電子メール」については、「信長の鉄砲」とたとえられるとおり、飛び道具であり、Windows/パソコンの普及と、インターネットの認知度、のような格安で誰もが1日で使えるようになるソフトたちのお陰で、使ってすぐ効果が現れやすいと言えます。(即効性がある)
今後は、どう使うかで差がでてくるのではないのでしょうか。

次に「マイツール」です。マイツールは一言に言うとデータベース言語です。表計算ではありません。ビジネスソフトの世の中の標準は、マイクロソフト社のワードというワープロソフトやエクセルという表計算ソフトです。

マイツールは、体育会系の僕でも使える、とても使いやすいビジネス(金もうけ)ソフトです。
マイツールがいいソフトと書いていても、人にすすめるのが難しいです。

どうしてでしょうか。マイツールのよさは一つは人と違うことが簡単にできるからではないのでしょうか。
パソコンのデータを自分の思い通りに料理することが、マイツールならできるからではないのでしょうか。

結局、僕はマイツールしか使うことができないのです。

「MG」は、

企業を(つ)よくする。

個人を(つ)よくする。

西順一郎先生「東京MG」講義より

マイツール(パソコン)は、もうけるために使いたいです。人と同じことをやっていたのでは、もうからないのです。マイツールは、企業が個人がもうける(お金だけとは限りません。)ための道具なんです。

僕のパソコンの画面は、となりの人と同じ表計算ソフトの表ではないのです。となりと同じことをやっても勝つことはできません。

パソコンがあっちはじめて使うことができるマイツールや電子メールは、道具であり手段だと思うのです。

私たちは、パソコンを使うのが目的ではありません。パソコンを使ってどんな仕事ができるかが勝負です。

そこで「MG」マネジメントゲームです。MGは西研究所・西順一郎先生が開発されたビジネスゲームです。

MGは、ただ単に勝ち負けを争うだけのゲームではありません。そこには、会計のノウハウ、企業の成り立ち、そして、会社が個人が(つ)よくなるための西先生の思想が込められており、私たちはMG研修に参加することで、西先生をはじめ多くの先輩、一緒に勉強している方からいろんなノウハウや思想を知らないうちに学ことができます。

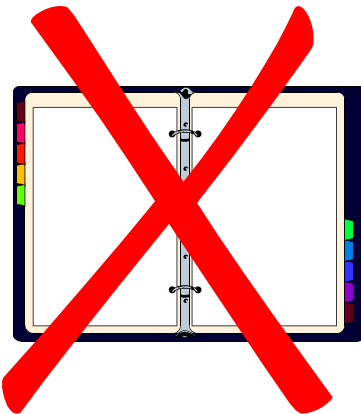
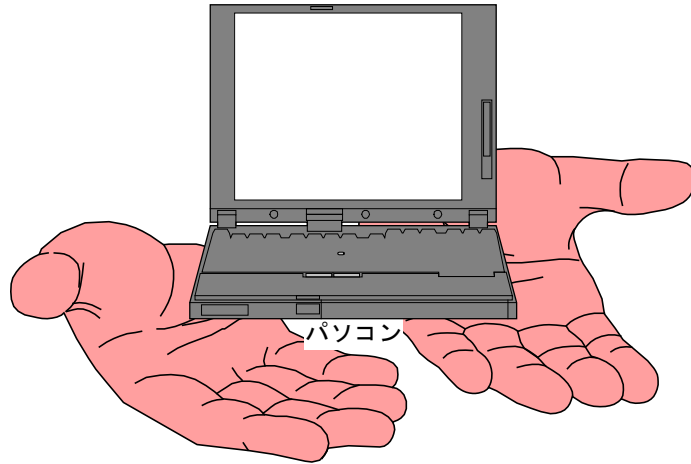
これから紹介するスケジュール管理は、西先生が(「戦略的マイツ―入門」の121ページによれば、)1981年1月1日から実践していたものを(ノウハウ)、僕がMG研修などに行くたびに、西先生から少しずつマネた(教えていただいた)ものです。

もちろん、僕は僕の使いやすいように変更したところもありますが、(それがマイツールのいいところでもありますから。)

このスケジュール管理を僕は、「西式スケジュール管理」と勝手に呼ばせていただき、ここにまとめました。

みなさまもどうかお試し下さい。絶対もうかります(^) **1-3**

データベース生活



世の中はデータベースでできている

- 僕は、社会人になって7年間、営業職・ルートセールスをしていました。はじめに上司と一緒に文具売場に行って、ココヨの130円の1年間が一覧できるものと、1ページ一週間の手帳、自由帳、アドレス帳の4冊を買いました。営業に手帳は必需品です。

一般に手帳というのは、毎年1月1日になると、いやおうなしに新しい年度のものに買いかえます。手帳が1年1冊、新しいものに変ることに不思議とも思わず、むしろ新しい手帳に変ることをよろこんでいました。新しい手帳になると心も入れ替わるような気がしてそれは楽しみの一つでした。

1年間使った手帳は、あたりまえのように机の引き出しの中に入れられ、入れられたら最後あまり開かれることなく、こうして手帳の中のデータは死んでしまうのです。マイツールでスケジュール管理をやるまでは、毎年こうやって情報(データ)を殺していたのに気づきませんでした。

- 僕は道具に凝る方で、手帳もいろんなタイプの物を試しました。でも、満足できる手帳と出会うことはできませんでした。当時はシステム手帳が流行していましたがどうもいまひとつでした。
- 1991年、僕はMG研修で西先生とマイツールに出会いました。MGの最後に配られる「西研セミナー」の案内のカレンダーを見て「なんて格好いいんだろう」と思いました。西先生が書かれている「戦略的マイツール入門」(ソーテック社)を見て、マイツールでやるスケジュール管理のことが書かれており感動して、いてもたってもいられず、見よう見まねですぐはじめました。これがなかなか面白いのです。
- マイツールでやるスケジュール管理はデータがいつまでも活きているのです。こうして僕のデータベース生活がスタートしました。

パソコンでやること

1. 日程管理 95%

2. 住所管理 3%

3. 戦略会計 2%

西順一郎先生著「戦略的マイツール入門」110ページ

- さらに感動したのは、マイツールでスケジュール管理をはじめてから1年たった時でした。マイツールの中で去年のデータが生きていたのです。手帳でやったら、引き出しの墓場で死んでしまった情報が、パソコンでやると生きています。

いつも去年はどんな注文があったかとか、いくらで見積を出したかとか、どんな商品をカタログに載せたか、カタログ代はいくらかだったかということを、上司に言われてから1日かけて調べていました。今は、パソコンが勝手に教えてくれるのです。これはすごいなーと思いました。

生活ってデータベースでできているのですね。これがわかると、マイツールでやるスケジュール管理は、ますます威力を発揮しました。

- 僕は、西先生のマイツールの使い方が大好きです。西先生は、講義の中でも本でも言っておられます、

パソコンでやることは3つだけ
「日程管理」(スケジュールリング)
「住所管理」(顧客管理)
「戦略会計」(業務管理)

これは、マイツールでスケジュール管理をやってみるとはじめてわかります。

スケジュール管理の重要性は感じていてもマイツールでやらないと意味がないのです。

超整理手帳もザウルスもわからないでしょうね。僕は、ロータス社のオーガナイザーをはじめいろんなPIMソフトをパソコンで試しましたが、かゆいところに手が届かないという感じなのです。

省脳

省脳

マイツールに
入れて忘れる

マイツールが
教えてくれる

マイツールが
覚えているから

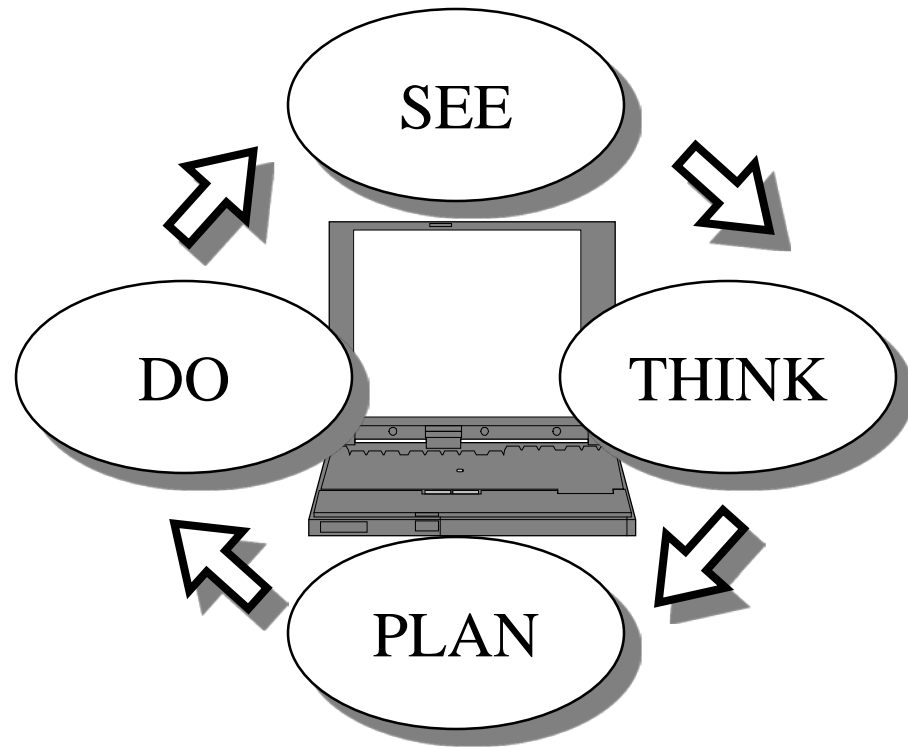
- 西先生が言われる言葉に「省脳」(しょうのう)があります。

僕は、この言葉の響き、ニュアンスが大好きです。
あまり細かいところにはこだわらず、ざっくりと物事をとらえ
(鷹のように優雅に他の鳥よりも高いところを飛び)、ここぞ
という時に力を出す。そういう時に自分の脳を使う。
- 物事はマイツールに入れて、そして忘れます。あとで思い
出せばいいのです。思い出せるようにデータベースに録音
しておけばいいのです。
電話番号や知人の誕生日、記念日なども覚えないようにし
ています。マイツールに記憶して、頭から削除します。
限りある頭をもっと他のことに使いたいのです。
- マイツールが言っているから
スケジュールを決めるにも、曜日優先の戦略カレンダーを
見ながら決めるのは、とても省脳(よけいな頭を使わない)
だと思います。

やってみるとわかります。案外うまく行きます。
僕は、西式スケジュール管理と名簿の活用で、とてももう
かったと感じています。

1994年に西研タヒチツアーに行った時、はがき道の井辻
さんは、名簿の宛名を全部(はがきを出さない人の分も)
タック
シールに印刷して持ってこられました。僕はそれを見て、こ
れって省脳だなんて思いました。
- 西式スケジュール管理のお陰で、行動が変わりました。

コントロールでなくクリエイティブ



パソコンを使って今の仕事をどうするかでなく、
パソコンがあれば、どんな仕事ができるか

- 僕は、スケジュール管理を毎日1~5ページくらいまで見て、意思決定しています。1~5ページということは、今日から常に3ヶ月先くらい先を意思決定しています。この作業は僕にとってとても有意義で楽しい未来を創造する時間なのです。

もう済んだスケジュールは、日付に12足して来年もまた使える情報としてマイツールのデータベースに記録しておきます。

この作業はよく言われる

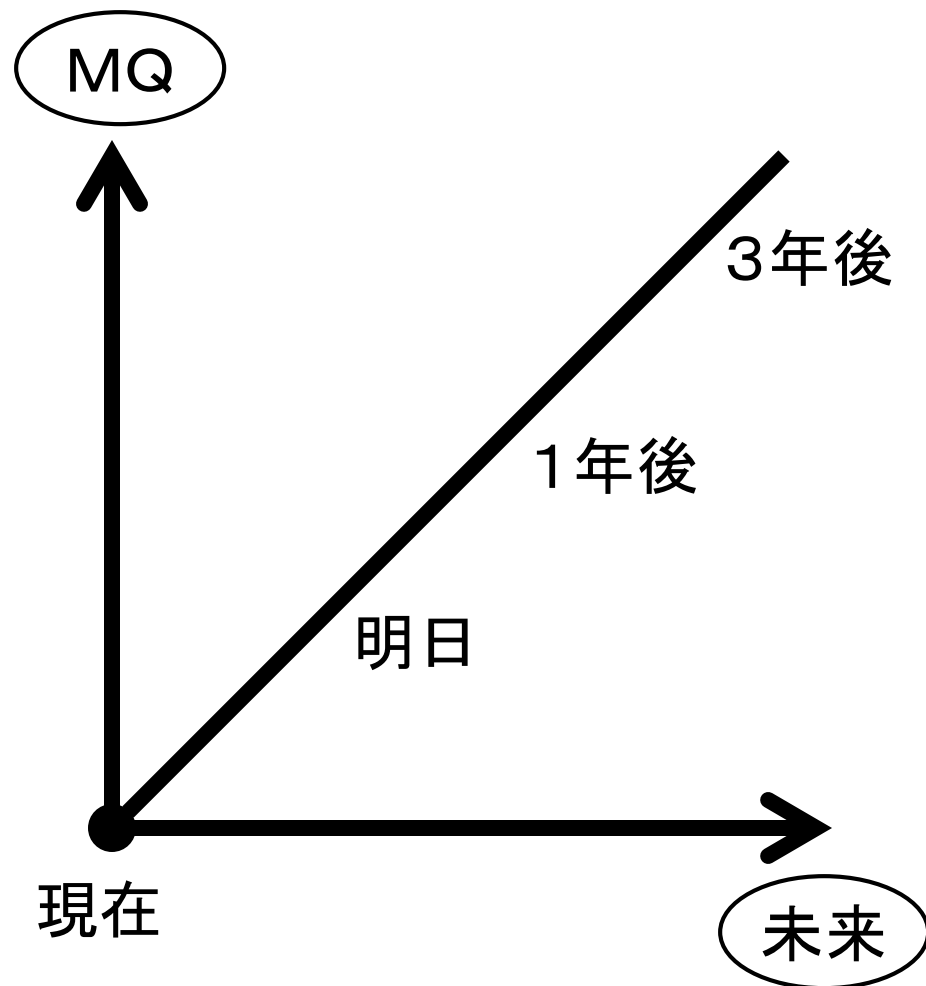
「PLAN」(計画)ー「DO」(実行)ー「SEE」(見直す)ー「THINK」(考える)の作業を自然にやっていたのです。

- 今日は「電子メール」「電子会議室」の普及でこのスケジュールを共有してさらにグループでの威力を発揮しています。なにも高くて難しいグループウェアを使わなくても、マイツールでやるスケジュール管理は、今すぐにでも共有することができます。必要なら誰でも項目(カラム)を付け足すことができます。
- 僕の考えは、パソコンは創造するために使う道具だと思います。パソコンは確かに計算やコントロールが得意です。がしかし、パソコンで人を管理するのは僕は好きではありません。

パソコンを使おうと考えた時、今の仕事をそのままそっくりパソコンでやっても何の意味がありません。パソコンを使う限りには、何か変らないと意味がないと思います。

パソコンがあれば今の仕事をどうするかでなく、パソコンがあればどんな仕事ができるかで勝負がつくのではないのでしょうか。

パソコンは未来に使う



- ・ 僕は、パソコンは、もうけるためにつかう道具だと思います。だから、パソコンではゲームなどは一切しないで、「パソコンは仕事に使う」というのが僕の考えです。

パソコンを使って付加価値を上げるためには、明日のことを、未来のことをパソコンで考えるのが一番だと考えます。

それには、パソコンでスケジュール管理をするのが一番でないでしょうか。

それもマイツールで、西式でやれば最高です。西式なら、やさしいし、楽しいからきっと続くと思います。普通の人にはマイツールを使いませんから(超整理手帳かザウルス)、1年後きっと、もっと差が広がります。知らないうちについた差は、大きいです。

- ・ 人と同じ事をやっていたのでは、もうかりません。

マイツールで人と違うカラムを作って、データベースにすることで、その瞬間からあなたの行動、仕事の段取り、お客様との会話までも、すべて戦略的に変わっていくと思います。

- ・ ここまで読んでいただいた方へ、長々と生意気なことばかり言って申し訳ありません。最後に西式の「すぐやる、あとで直す」精神で、今からスケジュール管理ははじめませんか。

必ずもうかります(^)。

そして、何か新しいことを発見したら教えて下さいね。こうして成功を共有するのが、僕の楽しみです。